

1 学校経営の基本方針

大曲小学校の歴史と伝統を重んじ、地域の実情や児童の実態に即しながら、以下の経営方針の下、教職員の英知を結集して「創意と活力」に満ちた学校経営を推進する。

- (1) 学校教育目標の具現を通して「体」「徳」「知」の調和のとれた児童を育成するとともに、よりよい生き方を追求する“志教育”の推進に努める。
- (2) 基礎・基本の定着に努めるとともに、児童一人一人の個性や能力の伸長を図る創造的な教育活動を展開し、楽しい学校づくりに努める。
- (3) 「職務は厳しく、研修は鋭く、職場は楽しく」を基本姿勢とし、“敬愛”“協調”“信頼”に満ちた経営に努める。
- (4) 家庭や地域との連携を密にしながら「外に開かれた学校づくり」を推進し、家庭・地域に信頼される学校づくりに努める。
- (5) 学校教育施設・設備、教材等の整備・活用を通して校舎内外の安全・美化を推進し、児童にとり望ましい生活・学習の環境づくりに努める。

2 学校教育目標

(1) 学校教育目標

心もからだも健康で 明るく力いっぱい生きる 子どもを育てる

(2) 目指す児童像

【合い言葉】	—— やさしく	かしこく	たくましく	——
○ たくましく粘り強い子ども			(たくましい子)	体
○ 心豊かで思いやりのある子ども			(やさしい子)	徳
○ よく考えて工夫する子ども			(かしこい子)	知

【目指す学校像】

『歌と緑にあふれ 夢を育む学校』

○楽しい学校

- ・児童一人一人が生かされ「学ぶ楽しさ・分かる喜び」を実感できる学校
- ・児童一人一人が認められ安心して生活できる学校

○心を育む学校

- ・人・物・自然との関わりを通して豊かな心を育む学校
- ・歌があり緑あふれる感性豊かな学校

○信頼される学校

- ・教育活動を積極的に公開する学校
- ・家庭・地域と絆を結ぶ安全・安心の学校

【目指す教師像】

『児童・保護者・地域から

信頼される教師』

○児童を愛し、児童と共に学ぶ教師

- ・児童一人一人のよさを認め、教育活動に情熱を持って取り組む教師
- ・温かい思いやりにあふれ、楽しい学校づくりを進める教師

○教師としての自覚と使命感を持ち、専門職としての力量を高める教師

- ・日々研修に励み、児童主体の「分かる」授業づくりを進める教師

○互いに敬愛し、協働する教師

- ・互いの専門性や持ち味を生かし、支え合う教師

3 “目指す児童像” 具現のための方策（教育目標具現のために）

(1) 「たくましく粘り強い子ども」(体)の育成のために

- ① 保健指導や生活安全・交通安全・災害安全の「四つの命の教育」の充実を図る。
 - 健康診断や発育測定，体力・運動能力テストに基づく健康指導を展開する。
 - 交通安全教室や避難訓練，日常生活指導により，命の大切さの認識と安全への意識を高める。
- ② 確かな健康生活の認識を育て，心身の健康の保持増進に取り組む実践的態度の育成を図る。
 - 食育の推進を通して，望ましい食習慣の意識を高める。
 - 学校生活全体を通して心身の健康観察を徹底し，迅速・適切なケアに取り組む。
- ③ めあてを持って取り組む「教科体育」と集団遊びや遊具遊び等を中心とした「生活体育」の充実を図る。
 - 体育の授業や業前マラソン，業前縄跳び等を通して，運動の楽しさを味わわせながら体力の向上を目指す。
- ④ 自ら鍛える心，強い意志力，新しい事柄にも積極的に取り組もうとする心を育てる。

(2) 「心豊かで思いやりのある子ども」(徳)の育成のために

- ① 児童の自主性・主体性の育成に努め，基本的な生活習慣を身に付けさせる。
 - 「心あったかイートころ運動」の充実と「礼儀作法の手引き」の活用を図り，気持ちのよい挨拶や正しい言葉遣いができるようにする。
- ② 教師と児童の触れ合いを基盤とした積極的な生徒指導を展開し，望ましい集団活動を育成するとともに，児童一人一人の人権を守り，よさに応じた指導の充実にも努める。
 - 「定期教育相談」「チャンス相談」「心のアンケート調査」「スクールカウンセラー活用」による相談活動等の充実を図り，いじめ・不登校を防止するとともに個を生かすよう努める。
 - *チャンス相談：いつもと違うと感じたときに，機会を逃さずすぐ相談する（話し合う機会を持つ）こと
 - 学級づくりを充実させ，よりよい人間関係を育むよう努める。
- ③ 道徳の時間を確保し，道徳的実践力を高める指導法の工夫を図るとともに，教育活動全体の中での道徳教育の充実を図る。
 - 道徳の時間と他教科領域等を関連させ，道徳的実践力を高める。
 - 特別支援学級との交流を通して，共生の心を育む。
 - 児童と教師が共に清掃活動に取り組み，「心あったかイートころ運動」の充実とともに奉仕の心を育てる。
- ④ 自己統制力，規範意識など，望ましい社会的能力と態度の育成にも努める。

(3) 「よく考えて工夫する子ども」(知)の育成のために

- ① 読み・書き・計算等，学習の基礎・基本をしっかりと身に付けさせ，確かな学力を育てる。
 - 算数科における少人数指導をはじめとする個に応じた指導を積み重ね，つまずきの解消に努める。
 - 授業と「スキルタイム」「放課後学習」等を効果的に関連させ，基礎・基本の定着を図る。
- ② 学び方や調べ方の力を高め，主体的・能動的な学びを身に付けさせる。
 - 「問題解決的学習の導入」「学び合いの場の設定」「体験活動の導入」などから自ら考え学ぶ力を養う。
 - 「家庭学習の手引き」を積極的に活用し，学習習慣の定着を図る。
- ③ 発表・表現する機会を意図的・計画的に設定し，表現力の向上を図る。
 - 教科指導のみならず，全ての教育活動において意図的・計画的に「発表」「表現」の場を設定する。
 - 「朝の読書活動」の充実や「学校図書館」の利用等を通して，読書の習慣化とともに表現力の向上を図る。
- ④ 課題やニーズに応じ，特別支援教育の趣旨を生かした指導の充実を図り，併せて交流学习を推進する。
 - 個別の「教育支援計画」「指導計画」に基づき，一貫した指導に努める。

4 重点努力事項（教育目標具現を支える環境づくり）

- (1) 創意ある教育課程の編成と適正な実施及び評価・改善に努める。
- ① 「教科」「道徳」「外国語活動」「総合的な学習の時間」や「特別活動」において、年間指導計画に基づいた実践を重ね、評価し改善を図る。
 - ② 児童の実態に応じ、地域の教育素材を生かした特色ある教育活動を展開する。
- (2) 校内における研修の充実に努める。
- ① 研究主題に基づく校内研究を推進し、よりよい授業づくりを目指す。
 - ② 校内における研修内容・研修方法を吟味し、実践的な指導力の向上を図る。
 - ③ 学力検査の結果を分析・考察し、日々の指導に生かす。
- (3) 特別支援教育の充実に努める。
- ① 在籍児童の実態を考慮した教育課程を編成するとともに、学習環境の整備や教材教具の工夫、指導法の改善を通して教育効果を高める。
 - ② 特別支援学級と通常の学級との連携を深めながら交流学习を推進し、温かな人間関係と社会性の育成を図る。
 - ③ 通常の学級に在籍する特別に支援が必要な児童に対し、個々の実態・ニーズに応じた適切な支援を行う。
 - ④ 児童や保護者、地域の理解と啓発活動を推進する。
- (4) 学校と家庭、地域、関係機関との連携強化に努める。
- ① コミュニティ・スクール導入を視野に学校と保護者、地域が一体となった教育活動を推進する。
 - 学校教育の充実と地域の教育力の向上を目指し、地域と学校がより緊密に連携するために、協働教育の充実に努める。
 - ～ 「スクールボランティア」として保護者や地域の方々のサポート
 - ～ 郷土を学ぶ学習の推進（農業体験・世代間交流・校外の整備活動など）
 - ～ 二中学区連携強化による、コーディネーターを担う人材発掘の推進
 - 教育活動(教科・領域等指導)に地域の人材を積極的に導入するとともに、「養殖」「野菜農家」「鉄工団地」等の見学・体験を通して「勤労観」「社会性」を養い、よりよい生き方を求める志教育を推進する。
 - ② 教育活動の積極的公開と外部評価の導入による「開かれた学校づくり」を推進し、保護者及び地域の理解と信頼の獲得を図る。
 - 「学校だより」「学年・学級だより」「保健だより」等の発行及びホームページによる情報発信により、積極的に学校の様子を伝える。
 - 学習参観、各種行事等の教育活動を積極的に公開することを通して理解を得るよう努めるとともに、感想・意見を改善に役立てる。
 - 学校評議員会を積極的に活用し、学校経営・運営の改善を図る。
 - ③ 幼稚園や保育所、中学校等関係機関との連携を推進する。
 - 「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」「生徒指導」の4領域にわたって矢本第二中学校区小中連携組織を一層有効に機能させ、小中一貫した方針・方向で児童生徒を指導し、健やかな成長に資する。
 - 幼稚園や保育所との「連絡会」「交流会」等を通して情報を共有し、適応指導など適切な指導に資する。
 - 東部児童相談所、東松島市福祉課等との連携を強め、適切な対応を行う。

【学校教育目標具現のための構想図（アクションプラン）】（別紙）